

平成23年度

事業計画

公益財団法人草津市コミュニティ事業団

## 《基本方針》

公益財団法人として新たなスタートを切った本年度は、これまでの事業で蓄積してきた経験やノウハウ、ネットワークを活かして積極的に事業展開を行うと共に、事業や組織のイノベーションを図る。

具体的に、事業については、地域の課題や市民ニーズに根ざしたテーマを選択し、問題解決や実際のまちづくりに寄与することを目的としてその波及効果や費用対効果を勘案して実施する。

組織については、評議員会の設置や理事会の再編に伴う意思決定機関の変化に対応するため、事務局機能の強化や事業部局の構成を見直し、ガバナンス強化を図る。

また、公益法人としての役割や機能を市民に広く周知し、市民と協働して事業団を有効に活用するため、公益認定記念事業を実施すると共に、コミュニティづくりのプラットフォームとしてのICTを活用した情報戦略を確立する。

# 【 I 】 公益目的事業

(コミュニティ事業)

# 1. まちづくりセンター事業

## 1－(1) ひとまちキラリ助成

市民の自主的で自発的なまちづくり活動（市民活動）の立ち上げに対し、助成金による資金的支援を行うほか、提案活動の目的達成のために必要となる中間的な支援を行う。

具体的には、申請、公開ヒアリングを経て、運営委員会による審査により選ばれた3団体（上限）に対し1年目10万円、2年目20万円を上限に助成する。また、今年度は新規事業として、「元気」と「うるおい」をもって草津の新しい魅力を創出し、これまでになかった市民企画の新しいイベントの実現を支援する「(仮)まち輝くアイデアイベント助成」枠を新たに設ける。

## 1－(2) まちづくり機器貸出

自治会、NPOやボランティア団体などの市民活動団体、社会教育関係団体、福祉関係団体などの各種団体に安価で機器を提供することにより、世代間や地域内での交流を促進し、コミュニティの振興を図る。

また、今年度より利用者の利便性を高めるため、土・日曜日の貸出返却を受け付ける。

更に、市内に内在する人やモノの資源の流動性を活性化することを目的に「(仮)貸してねット」の設置に向けて、調整を図る。

## 1－(3) 草津まちづくり情報ひろば

市内における多様なまちづくり活動を情報面からサポートするとともに、蓄積した情報資源の市民による積極活用を促す。

これまで市内の市民活動団体へのアンケート調査を通じ発行してきた冊子「市民活動団体情報」を引き続き発行する。また、主に退職世代を対象として、様々な場所や季節を楽しむ「くさつ自悠時間倶楽部」を実施する。

## 1-(4) まちづくり担い手育成事業

平成22年度に実施した「まちの元気・ご近所ネットワーク調査」事業によるNPOからの報告および中間支援プログラムの提案を受け、人材育成プログラム「(仮)草津まちづくりカレッジ」を、大学との協働により実施する。

## 1-(5) 草津コミュニティ支援センター

「公設市民営」方式で運営している同センターについて、更なる機能強化を図るため次の①～⑤の事業を実施する。

### ①市民活動情報・イベント情報の発信

市民活動に関する情報やイベント情報をコミュニティ支援センター運営会と協働で発信する。

### ②まちづくり関連事業の実施

中間支援機能を高めるために「(仮)コミュニティ支援センター助成制度」を設ける。この助成制度は、コミュニティ支援センター内で実施する公益的事業に対して助成金を交付する事業とする。

また、子育て支援プログラムを定着させるため、「(仮)コンサート・おかあさんと一緒」や「ブックトークコンサート」を開催する。

更に、まちづくりセンターで毎年実施している事業「登録団体・全員集合」について、本年度は同日開催とし相互の交流を図る。

### ③運営会のマネジメント力強化と相互連携

管理主体であるコミュニティ支援センター運営会に参画し、事業や運営についてコミュニティ支援センターの機能がより向上するよう事業団として適切な関与を行うことにより、マネジメント力の強化を図る。

また、コミュニティ支援センター運営会とまちづくりセンター運営協議会との交流の場を設けて相互連携を深める。

### ④市民まちづくり研究所設置に向けての調査研究

「(仮)市民まちづくり研究所」の設置に向けて調査研究を行う。

## ⑤NPO実務講座

市民活動や地域活動にて行う様々な事業は、単に実践者の「思い」だけでは期待どおりの効果を得にくいことから、基本的な実務についてそれぞれの専門家や実践者から学び具体的に身につけるための学習機会を提供するとともに、個別の相談にも丁寧に対応していく。

## 1-(6) 集り処 縁

市民活動や地域活動、ボランティア、社会教育活動等、草津を元気にする「まちづくり活動」を対象にした施設として、まちなかふれあい交流施設「集り処 縁（ゆかり）」を運営する。

縁は、次の3つの基本コンセプトに基づき、活動成果の発表、作品展示やミニ講座、少人数でのミーティング等、活動の様々な場面で利用できる場所を提供する。

施設の基本コンセプト

- 1) 使いやすく親しみやすい場の提供
- 2) 新たな交流と学びの機会創出
- 3) 街道ならではの出会いとふれあい

## 1-(7) 地域協働

自治会を対象に進められているまちづくり協議会に関連して、次の①～②のとおり支援やコーディネートを行うと共に調査検討を行う。

### ①協働コーディネート業務

草津市にて進める第5次草津市総合計画や協働のまちづくりを推進していくため、専門性を有した協働コーディネーターを配置する。

#### 【協働コーディネーターの主な業務】

- ・事業団職員スキルアップ研修の企画と実施
- ・まちづくりセンターの中間支援機能強化のための事業企画
- ・まちづくり振興係実施事業における助言および運営支援
- ・草津コミュニティ支援センターの機能向上プログラムの企画提案

## ② (仮) 草津コミュニティAWARD調査検討事業

平成22年度に実施した「まちの元気・ご近所ネットワーク調査」事業の結果を踏まえ、市内の各地域で取り組まれている住民主体の絆づくり事業や課題解決事業等を公募し、審査の上、表彰する事業である「(仮) 草津コミュニティAWARD」実施に向けて調査検討する。

## 1-(8) 諸団体との協働

子どもの健全育成、家族のふれあい、世代地域を越えた相互交流を目的として「くさつ子どもフェスタ」を開催する。

また、納涼まつり、パワフル交流市民の日、草津宿場まつり、草津市子ども環境会議など全市的な市民参加型事業に積極的に参画し協働する。

その他、草津市子ども書き初め大会の後援等、協働事業を実施する。

## 2. 高齢者福祉・多世代交流事業

### 2-(1) なごみの郷

高齢者や多世代の交流場所として、互いにふれあい学びあい教養を高めながら、地域への還元を目指した取り組みを行う。

また、利用者増をめざし、市民ニーズに対応した事業を計画・実施するとともに、玄関横において、月2回を目途にロビーコンサートを実施する。

なごみの郷をより多くの市民に知っていただくため、近隣学区の町へのPR資料を作成し、全戸回覧を依頼する。また、利用者の高齢化が進むなか、高齢者のふれあいづくり、健康づくりにより重点をおき、高齢者の生きがいをいづくりに貢献する。

#### ①多世代交流事業

- ・祖父母孫、親子がふれあう講座（陶芸、料理）
- ・教養、趣味を高める講座（ネイルアート、水彩画等）
- ・料理の幅を広げる講座（健康料理、多国籍料理等）

#### ②高齢者の健康づくり、介護予防の推進

- ・健康増進講座（ルーシーダットン、チャイルドマッサージ等）
- ・健康をキーワードとした仲間づくり講座（折り紙、みんなで歌おう等）
- ・心身をリラックスさせる講座（アロマテラピー）
- ・毎月1回の無料健康相談
- ・夏・冬場の期間、健康なんでも相談（無料）
- ・「いきいき百歳体操」講座

#### ③協働の役割

- ・同好会活動の支援

#### ④利用者向上対策

- ・毎月2回を目途にロビーコンサート（無料）
- ・隣接学区民に対し講座案内、無料巡回バス等を回覧板でPR



#### ⑤安心・安全の提供

- ・無料巡回バスの安全運行
- ・浴槽の衛生管理の徹底
- ・利用者の声を聞く「アンケート調査」の実施と課題の解決
- ・夏・冬場、入浴利用者の安全を考えた介護士配置

#### ⑥環境配慮への取り組み

- ・ごみの減量、ゴーヤーカーテン等によるエネルギーの節減の実施

## 2-(2) ロクハ荘

ロクハ荘は、高齢者が生きがいや社会での役割を見出すきっかけづくりの拠点施設として重要な役割を担っている。このことから、「こころとからだの健康づくり」、また「世代間を超えた仲間づくり」ができる魅力ある講座やイベントを開催するとともに、その成果を発表する場を提供し、新たな「じぶん発見」につなげてもらう。また、利用者と連携・協力しながら施設運営が行える体制づくりである「サポーター制導入」に向けて、さまざまな形で運営に携わっていただくきっかけづくりを行う。

#### ①多世代交流事業

- ・祖父母孫、親子がふれあう講座・イベントの開催
- ・仲間づくりイベントの開催
- ・子育て支援事業

#### ②高齢者の健康づくり、介護予防の推進

- ・毎月1回の無料健康相談
- ・健康講座の開催
- ・教養・趣味・スポーツ講座の開催
- ・「いきいき百歳体操」講座

#### ③協働の役割

- ・同好会活動支援
- ・同好会による講座の開催
- ・ロクハ公園との協働事業

#### ④利用者向上対策

- ・さまざまなイベントの開催
- ・チラシやロクハ荘新聞の配布

### 2- (3) 高齢者コミュニティ

高齢者のコミュニティ促進のため、次の事業を行う。

- ①ふれあいまつり
- ②ふらっとサロン
- ③（仮）ミニ見にコンサート
- ④お楽しみ演芸会
- ⑤ほっとサロン
- ⑥桜観賞会とお茶会
- ⑦（仮）秋の紅葉とお茶会
- ⑧（仮）将棋・囲碁交流会
- ⑨なごみの郷ロビーコンサート

## 3. 環境・公園緑地等事業

### 3-(1) ロクハ公園

自然を最大限活かして作られたロクハ公園において、市民が気持ちよく利用できるようにボランティアや障害者団体等と連携しながら、市民に愛される公園づくりをめざし、以下の事業を行う。

#### ①市民参加の公園づくり

公園利用者へのアンケートおよびモニタリング調査等による意見を積極的に取り入れた公園運営や、ボランティア活動による公園サポーターの活動と学習を支援・実施する。

#### ②環境にやさしい公園づくり

自然の循環サイクルを確立するため、剪定した樹木や刈り草をチップ化・堆肥化すると共に公園に還元する。

#### ③安心・安全の提供

巡回点検実施による危険箇所の早期発見とそれらの補修等の迅速な対応。

既設置のAED（自動体外式除細動器）の操作手順と心肺蘇生法を全職員がマスターし不慮の事故に対応する。また、熱中症予防情報、光化学スモッグ情報、緊急地震速報、食中毒情報および気象に関する情報等の提供を行う。

#### ④他の公共施設と連携した公園づくり

長寿の郷ロクハ荘、高穂中学校、湖南農業高校等

### 3-(2) カブトムシの家

7月下旬より8月中旬までの間、ロクハ公園内に設置しているカブトムシの家を運営し無料開放する。

### 3 - (3) 児童公園等

市民の憩いの場である児童公園等(287ヶ所)を、子育てや青少年の健全育成の場として活用する。また、地元自治会やボランティアに対して、草刈機や樹木剪定に必要な機器・軽ダンプ車等の環境・緑化機器を無料で貸し出し、市民が主体となって公園を管理していくための支援を行う。また刈り草や剪定枝を回収してチップ化を行い、公園に還元するなど、環境と自然にやさしい公園づくりを目指す。

更に、公園ボランティアの募集・支援、花や苗木の提供、緑化・環境学習指導者の派遣ならびに各種事業の実施を積極的に展開する。自治会の自主的管理の支援としては、機器貸出に加えて地元で除草作業を行っていただいた後の処分をサポートすると共に、地元で対応できない剪定や薬剤散布等の業務については代行する。

### 3 - (4) 環境・学習

公園を有効に活用する事業や、自然・環境に関連する次の事業を実施する。

- ①初めてのアウトドア・クッキング
- ②野外音楽会
- ③プールサイドでハワイアン
- ④夏期キャンプ
- ⑤餅つき大会
- ⑥各種環境関連教室

## 4. 社会教育・文化・スポーツ事業

### 4-（1） アミカホール

草津市の芸術、文化ならびに生涯学習の拠点としてアミカホールを運営する。市民ボランティアによる「自主事業実行委員会」を設置し市民参加を促進するとともに、事業団のプロデュースにより各種コンサートや市民ミュージカルを実施する。また、情報ネットワークシステムの活用による生涯学習のプラットフォームの整備を進める。

#### ①市民参加型

草津合唱祭や市民ミュージカル（組曲「ぼくと私の大好き草津」を題材とする）など、市民が参加し自らが創造していく事業を展開する。

#### ②鑑賞型

音楽などの鑑賞を目的とした事業については、できるだけ質の高い良質なものを市民の方々と共に企画する。また、ホールでの演奏だけに止まらず地域へアウトリーチしていく手法についても取り入れる。

#### ③生涯学習関連

文化・芸術やまちづくりに関する学習機会を提供するために、講演会などを開催する。4月に童門冬二氏による講演「歴史に学ぶまちづくり」（公益認定記念講演）を開催する。

#### ④プラットフォーム

アミカホールの情報はもとより、文化・芸術並びに生涯学習の総合的な情報を市民が発信・共有していくためのポータルサイト設置など、基盤整備に努める。

### 4-（2） 文化・スポーツ

スポーツ振興や健康づくりに関する事業を実施する。

また、学校や地域において各種コンサートの実施を支援・協働する。

## 5. (仮) 草津市コミュニティファンド設立

特定公益増進法人の寄附優遇制度を活用して、事業所の地域貢献や市民の善意をコミュニティの健全な発展に結び付ける基金を創設する。基金への寄附は、法人一口5,000円、個人一口1,000円としてできるだけ幅広く募る。集まった寄附は、コミュニティの活性化につながる各種事業に活用する。

なお、募集の広報はチラシや当事業団の広報誌「コミュニティくさつ」の他、ホームページやFM放送、更には各事業所等へのダイレクトメール等により行う。なお、本年度はファンド設立に関する調査研究を行い、調査結果に基づき要綱・パンフレット等を作成する。

## 6. 広報誌・FM・ICT

### 6-(1) コミュニティくさつ

市民の編集ボランティアによるまちづくり情報誌「コミュニティくさつ」を発行する。毎号2000部を年4回発行し、市内の公共施設や銀行など人の集まる場所に設置する。

### 6-(2) コミュニティFM

コミュニティFM（えふえむ草津）を活用し、事業団の紹介やまちづくりを行っている市民活動団体・ボランティア等の紹介、PRを行う。

今年度は、20分番組「コミュニティタイム」に加えて、30分番組「(仮)月刊アミカホール」を放送する。

### 6-(3) ICT (インフォメーション・コミュニケーション・テクノロジー)

地域ポータルサイトとして <http://www.kusatsu.or.jp> (事業団の公式サイト) を設置し以下のサイトへの総合窓口として運用する。

- ・「joho932.net (くさつ情報ネット)」＝市民活動を中心としたポータルサイト
- ・「kaigoyobo.jp (介護予防)」＝ロクハ荘およびなごみの郷の情報サイト
- ・「sports932.net (スポーツくさつ)」＝スポーツ関連施設の情報サイト
- ・「rokuha.jp (ロクハ)」＝草津市公園事務所の情報サイト
- ・「amicahall.net (アミカ)」＝芸術文化や生涯学習の情報サイト

# 【Ⅱ】 収益等事業

(施設維持管理及び付帯事業)



# 1. 公共施設管理

## 1－(1) 道の駅草津

草津市より委託を受けて管理運営を行っている。パーキング機能を通じて、利用者に休憩の場を提供し、地域の文化・歴史・名所・特産品などを紹介する情報発信機能を担う。

## 1－(2) まちづくりセンター貸館

市民活動活性化に寄与するために運営している草津市立まちづくりセンターを有効活用するために、一般貸館を行う。なお市民活動団体の利用の妨げにならないよう、センター3階部分のみとする

## 1－(3) プール事業

ロクハ公園に設置されているプール施設を管理運営する。  
管理運営は、安全確保に万全を期すため専門業者へ委託する。

## 1－(4) 児童公園等維持管理

市内児童公園等の遊具補修や高木の剪定業務など、地元住民による自主管理では対応できない業務を専門業者に発注して行う。

## 1－(5) なごみの郷維持管理

なごみの郷に設置されている温浴施設、カラオケルームの維持管理を行う。温浴施設については、利用者を楽しんでいただけるよう、月替わりのハーブ湯や季節ごとのイベント風呂（柚子湯等）を実施する。また、カラオケについては、通信システムにより常に最新の曲を提供できるようにする。

## 1－(6) ロクハ荘維持管理

ロクハ荘に設置されている温浴施設、カラオケルームの維持管理を行う。温浴施設については、利用者に楽しんでいただけるよう、月替わりのハーブ湯や季節ごとのイベント風呂（柚子湯等）を実施する。また、カラオケについては、通信システムにより常に最新の曲を提供できるようにする。

## 1－(7) アミカホール維持管理

アミカホールの修繕や維持管理について、専門業者に業務発注する。

## 1－(8) 自販機・売店

利用者への便宜供与を目的として、公共施設等に食堂・売店・自動販売機を設置する。また、施設利用の際に必要な物品の販売を行う。

## 2. 収益活動

### 2-(1) 野村月極駐車場

草津市土地開発公社所有の土地を有償で借用し、月極駐車場として運営する。

### 2-(2) 合同会社

合同会社草津市スポーツ振興事業体の業務執行社員の一員として、草津市体育協会と連携しながらスポーツ施設の運営管理及びスポーツ振興事業の展開を図る。

管理施設：草津市立総合体育館、弾正公園（テニスコート、多目的広場、草津グリーンスタジアム）、草津市立武道館、野村運動公園、志津運動公園、ふれあい体育館・運動場、三ツ池運動公園。

### 2-(3) 普通財産の有効利用

草津市が所有している普通財産の貸与を受け、駐車場運営や市民農園等の事業を行うことができるよう調整を図る。

### 2-(4) 広告募集

ホームページへのバナー広告および広報誌「コミュニティくさつ」ならびに各種チラシ等への広告を募集し、掲載料を得る。